

# 認知症などに関する事業について 小樽オレンジかふえ（認知症カフェ）



## 同じ悩みを分かりあえる居場所を作りたかった

錢函で開催されている小樽オレンジかふえ「おさんぽカフェ店」の様子です。

（令和元年5月撮影）

認知症の当事者といふ人もいれば、家族が認知症といふ人、ケアマネジャーやヘルパーといった介護職に就いている人、地域の人と顔ぶれはさまざま。店内はバリアフリーで、思い思いに注文したドリンクが運ばれ、スタッフの心温まるおもてなしに気持ちが優しくなる。

中国の楽器「二胡の演奏会」が開かれ、「ハウルの動く城～世界の約束～」「涙そうそう」など、二胡の奏でる音色に心が和む。「この間、レジで支払う金額を間違えたよ」、「よくあることです」といった認知症に関するエピソードで花が咲く。このカフェを運営しているのはケアマネジャーのSさん。皆をもっと笑顔にするために、日々企画を検討中。

## 認 知症初期集中支援チーム

認知症は誰もがかかる可能性のある病気です。認知症の方と家族が安心して暮らせる地域をつくることが大切です。

40歳以上で認知症の疑いがあり、医療や介護のサービスを受けていない、又は中断している方などに、地域の医師と医療・介護の専門職がチームとなって、包括的・集中的に支援を行い、自立生活のサポートを行います。

市や地域包括支援センターに、お気軽に御相談ください。

### 認 知症サポーター養成講座

認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族を温かく見守り支援する応援者を「認知症サポーター」とい、市は認知症サポーター養成講座を開催しています。対象となる方は、原則10名以上で町内会等の地域団体、企業、学校、お友達同士の集まりなどです。時間は60～90分程度で受講料は無料です。



### 認 知症サポーターステップアップ講座

認知症であるために、生活の様々な場面で暮らしにくさを抱えている方がいます。ちょっとした手助けがあれば認知症の方や家族は、もっと安心して暮らしていくことができます。  
市では、認知症サポーターを対象に、認知症について更なる理解を深めるための認知症サポーターステップアップ講座を開催します。詳細は広報おたるなどでお知らせします。

### チ ームオレンジ

認知症の方や家族の支援ニーズと認知症サポーターを中心とする支援者をつなぐ仕組みを「チームオレンジ」と言います。地域包括支援センターでは、若年性認知症の方への支援も実施しております。地域包括支援センターに、お気軽に御相談ください。



### 生 活支援コーディネーター

生活支援コーディネーターは、それぞれの地域でシニアの方が安心して暮らしていける仕組みづくりのお手伝いを行います。地域における支え合い活動を「地域の視点で広げていく」ためのネットワークをつくります。お困りごとがある方は、生活支援コーディネーターへ御相談ください。  
生活支援コーディネーターは、地域包括支援センターなどに配置されています。

### 問合せ先

福祉保険部  
福祉総合相談室  
地域包括ケアグループ

TEL 32-4111  
(内線 313)  
FAX 33-1128